

- MIKAZUKI -

三日月

讃岐國分寺 大日如来制作プロジェクトで出会った作家たち
白谷琢磨・関口恵美・百々謙三

会期：2023年1月13日(金) - 2月5日(日)



photo: KATSURA ENDO

《殼の王妃》白谷琢磨、卵殻 漆 麻布 砥粉 唐檜
ローブ スタイロフォーム、H182×W45×D45 cm、2022



photo: KATSURA ENDO

《2秒後の煙り》関口恵美、檜に着色、
H63.5×W24×D18 cm、2022



photo: KATSURA ENDO

《キリン - 輪廻》百々謙三、木曾檜、
H52×W9×D32 cm、2022

このたび AMMON KYOTO では白谷琢磨、関口恵美、百々謙三による展覧会「三日月—MIKAZUKI—讃岐國分寺大日如来制作プロジェクトで出会った作家たち」を2023年1月13日(金)より開催いたします。

彫刻家・大森暁生氏とその工房では、1486年に焼失した大日如来像を東宝記に基づいて忠実に再現し、讃岐國分寺(香川県)に納めるという『大日如来制作プロジェクト』が進められています。本展では、このプロジェクトにて彫刻を担当している作家3名による作品を展示いたします。

AMMON TOKYOにて開催した彩色スタッフによるグループ展「日輪 -HINOWA-」(2021年)から続く展示として、彫刻スタッフによるグループ展は「三日月 -MIKAZUKI-」と題しました。

イメージの元は月輪からですが、月輪は満月のことを意味します。私たち3人はまだ完全な満月には届かない未熟な者として三日月としました。

ただ、三日月の様に鋭さと輝きをもって各々の表現に磨きをかけていければと思っております。

(アーティストステートメント)

素材やモチーフの背景にある言葉を用いて物語や新たな視点を生み出す白谷氏、木材の反った形状から子どもの姿を着想し、近年では情感溢れる女の子を主に制作する関口氏、動物・幻獣を神話や心理など独自の観点で表現する百々氏。3名の作家が織りなす世界観をぜひ会場でお楽しみください。

ARTISTS' PROFILES

白谷 琢磨 SHIRATANI Takuma (1994-)

1994年 佐賀県生まれ

2019年 東京藝術大学美術学部彫刻科 卒業

2021年 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻 修了

2017年から現在まで「D.B.Factory」にて彫刻家・大森暁生氏のアシスタントスタッフを務める。

主に土や木、漆などを素材にした彫刻作品を制作。コンペティションをきっかけに公共部への作品設置も手掛ける。素材やモチーフの背景にある言葉を用いて、ナラティブ（物語る）、スペギュラティブ（思考する）な彫刻表現を試みる。

関口 恵美 SEKIGUCHI Emi (1988-)

1988年 千葉県生まれ

2011年 東北芸術工科大学芸術学部彫刻コース 卒業

2013年 東北芸術工科大学大学院修士課程芸術文化専攻彫刻領域 修了

2020年10月から現在まで「D.B.Factory」にて彫刻家・大森暁生氏のアシスタントスタッフを務める。

丸太の反っている形の中に子どもの立ち姿が見えた事から、子ども、主に女の子を彫るようになる。そこに風が吹いているような、誰かを待っているような情景を落とし込み制作。手のない姿は言いたくても言えない心情を表現している。

百々 謙三 DODO Kenzo (1998-)

1998年 千葉県生まれ

2022年 武蔵野美術大学造形学部彫刻学科 卒業

2022年より現在まで「D.B.Factory」にて彫刻家・大森暁生氏のアシスタントスタッフを務める。

主に楠や檜を素材とした木彫作品を制作。実在の動物や幻獣を題材とし、神話、心理、命、時間など様々な観点から独自の形に落とし込む。

INFORMATION

三日月—MIKAZUKI—

讃岐國分寺 大日如来制作プロジェクトで出会った作家たち

白谷琢磨・関口恵美・百々謙三

会場：AMMON KYOTO

会期：2023年1月13日(金) - 2月5日(日)

営業時間：11:00~19:00 / 無休

オープニングレセプション：1月13日(金) 16:00~19:00(予約不要)

〒604-8004 京都市中京区三条通河原町東入中島町 87

Tel / Fax : 075-366-4400

Mail : info@ammon.co.jpWebsite : <http://www.ammon.co.jp/>